



町長日誌

No.236

町長日誌の第236号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月20日 (火曜日) AM10:00

今朝は気温が6度と冷え込みました。東京に出張すると湿度90%、気温は28度と梅雨に入っていることから黙っていても汗が噴き出す始末です。「こんなところによく住んでいただけますね?」と失礼を省みず省庁の方に聞くと「馴れば今日は涼しい方ですよ!」と返されます。確かにあまり汗をかいている人は見当たりません。電車の中で扇子を使っているのは私一人でした。心の中で「痩せよう!」と思いつつも「私は北海道仕様だから?」と言い訳を考えてしまう今日この頃です。

ホタテ漁は本操業に入り、一番牧草の収穫作業も本番となっています。輸出が好調なホタテですが福島原発事故処理水(アルプス水)の放水が一番のお客様である中国にどのような影響を与えるのか心配されています。牧草は降雪量が少なく、雪解けが早く、雨も少なかったことから干ばつ気味のため収量が少ない予想です。

5月29日 (月曜日)

北海道の高規格道路や一般道等の整備や維持補修の予算を要望する組織として「北海道道路整備促進協会」の総会があり会長就任が決まりました。前会長が退任したことによるもので、今後道庁建設部・開発局そして国土交通省道路局への要望活動が増えると思います。紋別までの高規格道の早期完成にも微力ながら努力したいと考えています。

6月7日 (水曜日)

農林水産省のバイオマス政策課の室長さんら4名が北興バイオガスプラントの視察に来られました。本当は課長さんが来られる予定でしたが国会が大詰めのため来ることが叶わず室長となりました。室長も4月に替わられたばかりとのことでしたがプラントの状況や大阪大学との共同研究などについて意見交換をさせて頂きました。本町は、生ごみと下水道汚泥全量をバイオガスプラントで処理して肥料化し草地に還元しています。現在国では農水省と国交省で下水道汚泥を肥料としての活用を進めていますが、本町では早くから行っています。しかし、この取り組みは国内では未だ珍しいことなのです。また、公営住宅を中心に生ごみ処理用ディスポーザーが300台導入されていますがこれも日本一の普及率とのこと。ゴミ処理は町民皆様の取り組みのお陰です。これからも皆で循環活用できる町づくりを進めましょう。

6月4日に行われた中学校の運動会は寒く小雨がちらつく天候ではありましたが徐々に生徒たちを応援できる嬉しさ、楽しさに寒さも忘れて声援を送らせていただきました。

翌週11日は興部小と沙留小の運動会でした。徒競走で一生懸命走る新一年生の姿、そして久しぶりに見せて頂いた沙留小全校児童による「よさこい」は圧巻でした。子供たち、先生方そして応援されていた皆さんお疲れさまでした!

では、また。



お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL 82・2131です。

